

パーパス策定 私たちは、何のために存在するのか。

創立20周年の節目に企業理念体系を見直したパーパスの策定についてご紹介します。

未来に、かたちを。 社会に、力を。

社会はどうあるべきか。

人々が、安心して幸せに生きていくための、
基盤となるものは何か。

それらをイメージし、そして実現することで、
社会や産業をリードしてゆく。

その意志と力が、私たちの培ってきた誇りです。

“鋼”をルーツとする私たちは、これからも、
たしかな技術力と、想像力、そして実装する力を磨き、
この社会を、しっかりと支えるものを届けていきます。

未来をかたちにし、社会に力をもたらしていく。
それが私たち日鉄エンジニアリングの使命です。

2026年3月、創立20周年を機に、当社は新たな企業理念体系を策定しました。中心に据えたパーパス「未来に、かたちを。社会に、力を。」は、存在意義と目指す方向を示す「北極星」です。

官営八幡製鐵所の建設に端を発し、鋼で培った技術と知見を礎にエンジニアリング事業へと発展してきた当社にとって、社会の発展基盤を築き、人々の暮らしと産業を支えることは、変わらぬ使命です。事業の姿は時代とともに変わっても、私たちが目指す方向は変わりません。

策定に当たっては、主要なお客様へのインタビューと全社員アンケートを通じて、自らの強

みを客観的に見つめ直しました。確認されたのは、「顧客に寄り添い粘り強くやり切る姿勢」と「高い技術力」への信頼、そしてお客様目線で期待を超える提案を求める声でした。

若手・中堅・キャリア採用など多様な社員による部門を超えた議論を経て策定したパーパスは、「ビジョン」「バリュー」とともに、新たな理念体系「PVV」を構成しています。

社会課題が複雑化し、エンジニアリングに求められる役割が変わり続ける今、私たちはこのパーパスを起点に、技術やパートナーと時代の課題を解き、社会に新たな力を生み出します。

